

基議総文第218号
令和6年11月28日

基山町議会
議長 重松 一徳 様

総務文教常任委員会
委員長 天本 勉

所管事務調査報告

本委員会は、所管事務の調査を終了したので、その結果を報告します。

記

1 調査事項及び調査期日

(1)文化財保護行政について

令和6年10月16日(水)

2 調査報告

文化財保護に係る埋蔵文化財の発掘と保管状況、ガイダンスセンター（仮称）の計画について、状況表や保管施設の写真を基に出土遺物の取り扱いや流れなどの説明を受けた。

今年度2件の発掘調査を行っている。現在保管している遺物数は延べ1,041箱で庁舎地下室・若基小学校校舎北西側倉庫・消防分署横の資材倉庫・車庫棟2階（整理作業室）・図書館収蔵庫にそれぞれ保管や展示を行っている。

現在、佐賀県の遺跡地図では、町内に約120か所の遺跡があり、各周知の遺跡の範囲内で開発する場合には確認調査を行っている。遺構等が発見されると、開発によって遺跡が壊されることになる場合は本調査を実施し、記録・保存を行うとの説明を受けた。

遺跡の本調査から収蔵に至るまでに重要視される遺物の判断基準とそれらが適正に保管されているかについて質したところ、遺構の時期や時代を示す遺物や地域性を考えるうえで重要なものについては抽出して報告・保管している。また、保管場所の地下室の湿度については現在問題なく管理ができています。保管場所が分かれており管理しにくいところもあるが、物によって適切な判断で保管しており、現状では最適な保管方法をとっているとの説明を受けた。

さらに、毎年増えていく出土品の保管について質したところ、毎年保管のためのコンテナ箱が10箱ほど増えている。まだ若基小学校校舎北西側倉庫に余裕があるのでそこを使用していくとの説明を受けた。

当委員会としては、将来的には複数ある収蔵庫を一か所に集めることも検討するよう提案した。

「基山町歴史的風致維持向上計画」に基づいた事業であるガイダンスセンター（仮称）については、当初総合公園周辺を候補地にしていたが、基山町の歴史・文化を発信する場として利便性が高い中央公園を新たな候補地を含めて検討していきたいとの説明を受けた。

当委員会としては、ガイダンスセンターの整備については、今後十分な議論を行い、町民の意見を聞きながら進めていくよう提案した。